

# 企業のゼロトラスト・アーキテクチャ導入におけるベストプラクティスの検討

Examining best practices of zero-trust architecture implementations for enterprise network

M1岡本 優・マネジメント分科会・情報セキュリティ大学院大学

The purpose of the study is to understand the current situation of Zero Trust Architecture (ZTA), which has been considered for introduction into enterprise networks in recent years, to identify the issues in the introduction of ZTA into enterprises based on the understanding of the current situation of the lack of widespread introduction into enterprises, ZTA-related products, services and technical specifications, and market research, and to examine and propose best practices for the introduction of ZTA into enterprises that will lead to widespread adoption.

## 研究目的

本研究においては、近年、企業ネットワークへの導入を検討されているゼロトラストアーキテクチャ(ZTA)について、企業への導入が普及しない現状把握、ZTA関連製品、サービスおよび技術仕様、市場調査からの企業へのZTA導入における課題を抽出し、普及につながる企業向けのZTA導入のベストプラクティスを検討し、提案につなげることを目的とする。

## 背景

近年、企業のクラウドサービスの利用拡大やリモートワークの普及により高まり、ゼロトラストという言葉が広く使用されるようになった。DX化などの背景から、企業でのゼロトラストの導入は検討されているが実際への普及はあまり進んでいない。

## 調査・研究状況

### ■文献調査 (NIST800 207)

- ※ゼロトラストの原則：「利用者、端末(デバイス)を信頼しない」
  - ・企業のCISOが考える最も重要な要素⇒認証基盤の確立
  - ・ゼロトラストの導入ステップ⇒まず第1に認証基盤構築
- ⇒ゼロトラスト導入には、認証基盤が最も重要

### ■仮説 (普及が進まない要因)

- ・認証基盤構築・運用の複雑さへの懸念
- ・導入後の管理の煩雑さへの懸念
- ・クラウドサービス利用におけるセキュリティの懸念

## 研究計画

M1 (～2022年9月)

認証技術・調査結果分析により課題抽出および提案に向けた手法検討

M2 (2022年10月～2023年6月)

ZTA導入におけるベストプラクティス提案、修論作成

【当面の実施内容】

- ・認証・アイデンティティ関連の技術調査
- ・ゼロトラスト導入が進む海外事例、研究等の調査
- ・ゼロトラスト製品・サービスの調査・比較検討
- ・企業におけるZTA導入における課題の更なる抽出